

第3期

みやぎ建設産業振興プラン

～「地域の守り手」として宮城の県土づくりを
担う持続可能な建設産業～

概要版



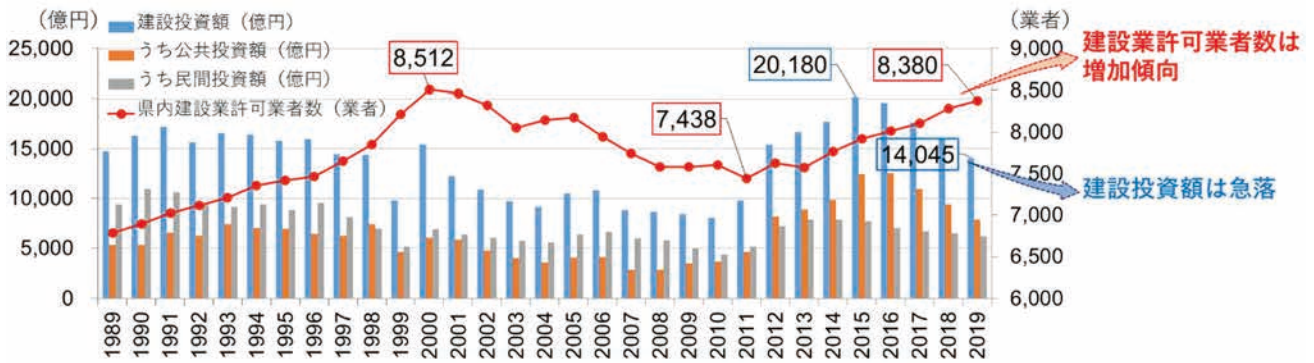
令和3年3月
宮城県

宮城県の建設産業を取り巻く現状

建設産業の現状

建設投資額と建設業許可業者数

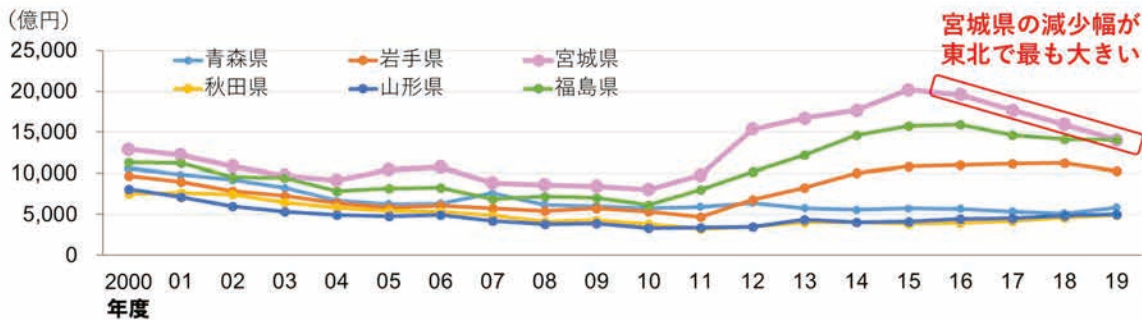
本県の県工事建設投資額は、平成 27（2015）年度の約 2 兆円超をピークに減少に転じ、令和元（2019）年度には約 1 兆 4 千億円まで減少。今後、更に震災前の水準まで減少する見込み。
一方、本県の建設業許可業者数は、震災を契機に増加。建設投資額のピークを過ぎても増加傾向が続き、平成 31（2019）年 3 月末時点では 8,380 社。



(出典) 建設総合統計、建設業許可業者調査の結果について (国土交通省)

東北 6 県の建設投資額の推移

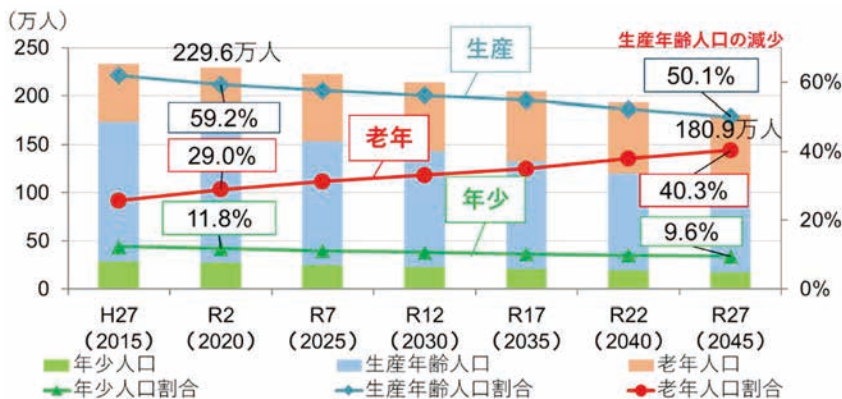
東北 6 県の建設投資額は、東日本大震災を契機に、被災した岩手県、宮城県、福島県が大幅な増加。その中で、最大の被災県であった本県では、平成 27（2015）年度をピークに減少に転じるなど、増減が最も著しく、建設業許可事業者数の増加傾向と併せ、今後急激な経営環境の変化が予想。



(出典) 建設総合統計 (国土交通省)

宮城県の将来人口

令和 27(2045)年の本県の人口は、約 180 万 9 千人まで減少。そのうち、老年人口割合は 40.3%、年少人口割合は 9.6%となり、その結果、生産年齢人口は令和 2（2020）年の約 59%から約 50%まで減少する見込み。今後の人口減少社会の到来により、全産業において担い手確保が課題。



年少人口：15 歳未満
生産年齢人口：15 ～ 64 歳
老年人口：65 歳以上

(出典)

日本の地域別将来推計

(国立社会保障・人口問題研究所)

国等の方向性

「新・担い手3法」の成立

相次ぐ災害を受け「地域の守り手」としての建設業への期待が高まる一方で、働き方改革促進による建設業の長時間労働の是正、i-Constructionの推進等による生産性の向上など、新たな課題や引き続き取り組むべき課題に対応するため、国では、平成26（2014）年の法改正に引き続き、令和元（2019）年6月に「新・担い手3法」として品確法・建設業法・入契法を改正。

主な改正テーマ	品確法の改正	入契法の改正
働き方改革の推進	適正な工期設定	工期の適正化
	施工時期の平準化	
	適正な請負代金・工期での下請契約締結	現場の処遇改善
生産性向上への取組	情報通信技術の活用等による生産性向上	技術者に関する規制の合理化
災害時の緊急対応の充実強化	緊急性に応じた随意契約・指名競争入札等の適切な入札・契約方式の選択	建設業者と地方公共団体等との連携の努力義務化

「地域建設産業のあり方検討委員会」報告書（令和2年3月）による提言

令和元（2019）年度に一般財団法人建設業情報管理センターによる本県を対象とした「地域建設産業のあり方検討委員会」が設置され、県内の建設産業の各種データを分析・検討するとともに、建設企業や関係団体へのヒアリング等を実施し、以下の3つの基本目標を柱とする施策を提言。

基本目標	施策	取組
担い手の確保	多彩な担い手の確保	若手・中堅層の入職促進
		担い手の多様化
	雇用形態・処遇改善	週休2日・月給制の実現
		雇用形態の安定化・多様化 適切な処遇の確保
労働時間の平準化	施行時期の平準化	
	適正な工期設定	
キャリアプランの構築支援	建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用	
	能力のレベル分けと処遇への反映	
生産性の向上	人材育成	企業間連携による人材育成
		外部機関の活用
	経営基盤の強化	地域優良企業等の育成・支援 中長期的な発注見通しの公表
地域力の強化	ICTの活用・プロセスの適正化	I-Constructionの導入
		プロセスの適正化・RPAの導入
	地域維持・災害対応	多様性を踏まえた地域維持への取組
災害対応の強化		
官民連携・戦略的広報	官民連携・戦略的広報	（一財）みやぎ建設総合センターの活用
		戦略的広報

本プランでは、建設投資額の大幅な減少を考慮し、「施策」から「基本目標」へ

課題

建設産業の現状や国等の方向性等を踏まえ、今後の課題を以下の4つに整理。

建設産業の 担い手に関する 課題

建設業就業者数における新規学卒者を含む若者の割合は減少。
建設業就業者の高齢化が進展。

社会的な生産年齢人口の減少により、建設産業においても担い手の確保のための人材獲得が困難となる恐れ。

建設業は他産業と比べ、長時間労働等が課題。
若年層にとって魅力的な産業となるように、就労環境の改善や「3K」イメージの払拭が必要。

全産業において生産
年齢人口の減少が
進む中での
担い手確保・育成

建設産業の 生産性に関する 課題

全産業的な生産年齢人口の減少を踏まえると、一定の担い手を確保したとしても必要な労働力が充足されない恐れ。

若手の入職促進に向け、作業時間の短縮や休日の確保などの労働条件の改善、現場の省力化や効率化が求められる。

限られた人材等を有効活用しながら、ICTを活用し現場の生産性を向上させる i-Construction の推進が必要。

イノベーションを
通じた建設現場の
生産性向上

建設産業の 経営環境に関する 課題

県内総生産に占める建設業の割合は、震災後に復興需要を背景に大きく増加。地域を支える重要な産業である一方、平成28年度から減少傾向。

復旧・復興の完遂に伴う建設投資の大幅な減少と相反する建設業許可業者数の増加傾向により、今後は受注競争の激化が予想。

深刻な人手不足により震災前にも増して厳しい経営環境下に置かれる可能性。地域社会・経済で重要な役割を担う建設業の持続可能性に懸念。

限られた建設
投資額の中での
経営の安定・強化

建設産業が担う 地域の安全・安全 の確保に関する 課題

高度経済成長期の発展とともに整備した社会資本の多くが、建設後30～50年経過。
今後、老朽化対策の適切な実施が必要。

復旧・復興事業により社会資本整備が進み、社会資本ストックがこれまでより増大。今後、計画的な維持管理や更新を着実にを行うことが一層重要。

建設業には、災害時のほか、除雪や家畜伝染病発生時における緊急対応業務など地域において期待される役割が増大。

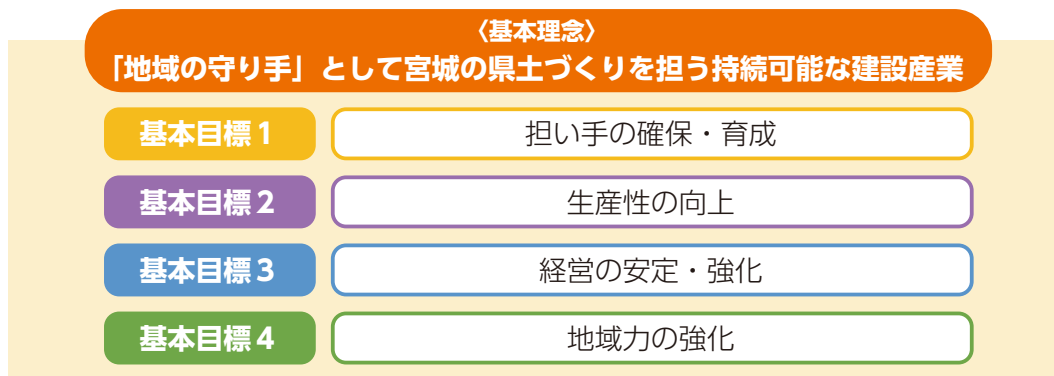
災害対応等で
地域を守り、支える
役割の強化

第3期みやぎ建設産業振興プラン

＜計画期間＞令和3（2021）年度から令和6（2024）年度までの4年間

理念・目標

震災復興需要のピークアウトに伴い、厳しい経営環境が想定される県内建設産業を、社会資本の整備・維持管理の担い手としてまた、「地域の守り手」として、将来にわたって持続的に発展していけるよう産学官が連携し、効果的、体系的に支援していくために策定するもの。



数値目標

計画期間の最終年度における目標値を設定。

基本目標	指標	目標値
基本目標1 担い手の確保・育成	①高卒者の建設業就職割合	9.0%以上
	②完全週休2日以上の週休制度の導入率	53.0%以上
基本目標2 生産性の向上	施工時期の平準化率	0.75以上
基本目標3 経営の安定・強化	売上高経常利益率	3.0%以上
基本目標4 地域力の強化	事業継続計画（BCP）の策定率 （建設業関係3団体）	50%以上

計画の位置付け

本プランは、今後の10年間の県政運営の指針となる「新・宮城の将来ビジョン」と分野別計画「宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）」を上位計画とする、建設産業振興に関する個別計画として位置付け。また、本プランの上位計画では、SDGsの視点を取り入れて、その特徴や17のゴールを理念や施策に反映。本プランにおいても関連するSDGsの視点を取り入れ、各施策を進めていく。



第3期みやぎ建設産業振興プランの体系図

(主な具体的取組) ◇…継続／◆…新規又は拡充

基本目標	施策	主な具体的取組
基本目標1 担い手の確保・育成	働き方改革の推進	<ol style="list-style-type: none"> 適切な賃金水準の確保 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 実態を踏まえた公共工事労務単価の設定 ◇ 各建設業団体等による適切な賃金水準確保の取組の徹底・強化 建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ CCUSの活用に応じた総合評価落札方式での加点評価 ◆ CCUSを活用した技能や経験にふさわしい処遇（給与）の実現 社会保険加入対策の更なる強化 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 下請企業の社会保険加入促進 ◇ 法定福利費を内訳明示した見積条件の普及促進 技能者の雇用形態の明確化・安定化 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 技能者の直接雇用・月給制を原則とする雇用形態の普及促進 計画的な休暇取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正工期の確保等を通じた休日拡大の誘導 ◆ 週休2日制の普及拡大 ◇ 計画的な休暇取得に資する現場での工程管理の徹底 ◆ ウィークリースタンス（工事・関連業務）の推進 建設工事従事者の安全及び健康確保 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する計画の推進
	若者・女性等の活躍及び定着	<ol style="list-style-type: none"> 若手技術者・技能者の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 外部機関と連携した研修 ◇ 若手技能者に対するキャリアパス提示の促進 女性活躍・定着の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 女性が働きやすい職場環境の整備 ◆ 女性活躍・定着に積極的に取り組む企業への支援
	建設産業の戦略的広報	<ol style="list-style-type: none"> 産学官が連携した積極的な広報活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 建設業界が一体となった広報活動の実施 ◆ 建設産業関係団体と連携した高校生等との意見交換会の開催 ◆ 教育庁をはじめとする他部局との連携 ◇ 小学生と保護者の建設現場見学会、体験型施設見学会の開催
基本目標2 生産性の向上	現場の省力化・効率化	<ol style="list-style-type: none"> 新技術・新工法の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ◇ ICTの活用拡大 ◆ BIM/CIMによる3次元データの活用 ◇ プレキャスト製品及びプレハブ工法の活用 ◇ 工事情報共有システムの普及促進 ◆ 遠隔現場臨場やウェブ会議等リモート技術の活用 施工時期の平準化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 債務負担行為やゼロ県債等の有効活用 ◆ 速やかな繰越手続きによる適正な工期設定 ◆ 現場施工の着手日を指定した工事の発注 現場の効率化促進 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 多能工等の効率的な活用
	技術力・専門力の強化及び評価	<ol style="list-style-type: none"> 技術力・専門力の向上支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 工事成績評定結果の公表 ◇ 表彰制度を活用した技術力向上等の支援 ◇ 産学官連携による技術力向上支援

基本目標	施策	主な具体的取組	
基本目標3 経営の安定・強化	復興需要後の経営支援	1 経営力の向上支援 ◆ 建設業総合相談窓口を活用した支援 ◆ 建設産業振興に関する講座等による支援 2 経営力に対する評価 ◇ 新分野進出及び企業合併に係る入札参加登録の再評価	
	将来を見通せる環境整備	1 中長期的な公共投資見通し等の公表 ◇ 中長期的な公共投資見通しの公表 ◇ 発注見通しの公表 2 適正な利潤を確保可能とする予定価格の設定等 ◇ 的確な審査体制による積算 ◇ 最新の積算基準及び単価適用による適正な予定価格の設定	
	建設産業の健全化	1 法令遵守と不良不適格業者の排除の徹底 ◇ 立入検査等の実施 ◇ 建設業法令遵守の推進及び普及啓発活動の展開 2 適正な元請・下請関係の促進 ◇ 「建設業法令遵守ガイドライン」の周知 ◇ 「宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱」に基づく指導	
	適正かつ公平な市場環境の整備	1 入札契約制度の的確な運用・改善 ◆ 総合評価落札方式の効果検証と改善 2 ダンピング対策の強化 ◇ 低入札調査基準価格及び失格判断基準の適切な設定・活用	
基本目標4 地域力の強化	「地域の守り手」として地域社会の維持、安全・安心の確保	1 地域における社会資本の維持管理に資する入札契約制度の構築及び普及 ◇ 地域維持型契約制度方式の活用 2 専門性の高い維持管理技術者の確保・育成 ◇ 専門性の高い民間維持管理資格の配置管理技術者等への活用	
	災害対応の知見を生かした災害発生時の対応確保	1 地域の災害対応力の強化 ◆ 地域建設企業のBCP策定に係る普及啓発 ◇ 地域建設企業等との防災協定に基づく連携体制の確保 ◇ 災害発生時等の緊急時における随意契約制度の活用 ◇ 建設資材の安定供給に向けた連携確保	
基本目標	施策	取組項目	具体的取組
4	11	24	◇ 継続 34 ◆ 新規／拡充 17



みやぎ建設ふれあいまつり



夏休み！親子現場見学会



工業高等学校生徒による現場見学会

第3期 みやぎ建設産業振興プラン

宮城県土木部事業管理課

〒 980-8570

宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-3116 FAX 022-211-3292

E-mail d-kensetu@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/>

※本プランは、事業管理課のホームページに掲載しています